

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	論理設計						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/選択科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル回路の設計手法や設計ツールについて理解する。(B4)</li> <li>・ICを利用して、簡単なデジタル回路が設計できる。(A8,B4,C3)</li> <li>・デジタル回路の最適設計手法を理解し、簡単なデジタル回路の設計ができる。(A8,B4,C2,C3)</li> </ul>						
日程と内容	9/18 導入講義 9/23 組み合わせ回路 10/2 順序回路 10/14 順序回路の設計 10/16 順序回路の最適化 10/23 順序回路の最小化設計 10/30 順序回路の設計演習 11/6 論理回路の利用例およびAC特性 11/13 ICの使い方 11/20 ICを用いた設計演習1 11/27 ICを用いた設計演習2 12/4 ICを用いた設計演習3 12/11 デジタル回路設計 12/18 総合演習 一回目 1/15 定期試験 一回目 1/22 総合演習 二回目						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	40%					
授業到達目標の達成度	授業内容に関して、いずれの到達目標に対しても概ね達成できた。						
反省点	前期の論理回路では、基礎的な内容で説明が主体の授業となり学生にとっては退屈な授業であったため、本授業は論理回路を利用する手法や論理回路の設計手法に関する演習主体の形式としている。そのため、講義を休んでしまうと回路設計の手法がわからなくなり、講義について行けなくなってしまった。今年度は、授業を休んだことで、講義内容についてこれなくなった学生が多く出てしまい、それが合格率に影響してしまった。						
来年度の計画	来年度は、配付資料を見直して、休んだ学生も自学自習できるように試みたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.9点であり、学生の満足度はあまりよいとは言えない。これは、「授業の内容は理解できましたか」が3.7点であることから、学生は授業内容を十分理解できていなかったことが要因と考えられる。回路設計の演習を複数回実施したが、配付資料を見ながらであれば設計できても、実際には十分理解できておらず、設計手法が身についていなかったことが合格率にも表れている。						
履修登録者数	50名	定期試験受験者数	44名	合格者数	18名	合格率	41%